

クリスマスライブ in やすらぎ 12月18日

♪ 演歌から朝の連続ドラマまで 幅広く演奏♪



老人保健施設「やすらぎ」にてクリスマスライブを開催。演者は昨年4月の救急医療フェアでも大活躍してくれた渡辺敦Dr.と医事課の夏目さんです。普段、笑顔と気さくな雰囲気でお客さんの診療にあたっていらっしゃる渡辺医師。今回は音楽で施設の皆さんを魅了してくれました。その様子を写真で少しだけご紹介いたします！



昨年の11月にあんず祭で活躍した大道芸人のメイさんも参加！

第2回 クリスマス会 in 尾西記念病院

12月11日(土)、尾西記念病院ではクリスマス会を開催しました。子供から大人まで多くの方が来場してくださり、笑顔いっぱいの楽しい会となりました！

今回は一宮周辺で活動するサークル等も参加しました。女声合唱団や大道芸、よさこい、そして当院職員も演奏や踊り、合唱を披露し、共に心温まるひと時を過ごしました。最後にはサンタが手作りカップケーキを来場者の皆さまに配るサプライズもあり、皆さんの嬉しそうな表情に職員一同、嬉しく感じました。




一宮西病院広報紙 アプリコット通信 vol.5

2011年1月15日発行 発行 社会医療法人 杏嶺会(きょうりょうかい)

迎春

新年明けまして おめでとーございませう。

一宮西病院が開明の地に移転をして一年がたち、二度目の正月を迎えました。移転当日、旧病院に入院されていた患者さんが全員無事新病院に移られて本当にほっとしたことを思い出し出しております。一年間の間に一宮西病院に救急搬送された患者さん、地域の先生方からの紹介患者さんがそれぞれ約2.5倍になりました。このことは一宮西病院が今まで以上に地域の皆様のニーズに応えお役にたつことができた証として大変ありがたく、また誇りに思うところです。また一生懸命頑張ってくれたスタッフへの感謝の気持ちでいっぱいです。

杏嶺会では一宮市から移転を受けた、いまいせ心療センター、尾西記念病院の運営も軌道に乗り、地域医療を守り貢献できたのではと喜んでいます。奥町に残った上林記念病院、老健やすらぎ、訪問看護等在宅部門も多くの皆様に利用していただき共に歩んでいます。

これまで地域の皆様に支えられ杏嶺会は大きくなってきました。私どもの使命は一にも二にもとにかく地域の皆様の医療福祉に貢献できる存在であり続けることであり、変わることはありません。

二〇一一年、日本が経済的、社会的にも明るい展望が開けますように、地域の皆様が明るく健康な一年を送ることができるようにと願いながら、新年にあたり職員一同がんばる決意を新たにしております。

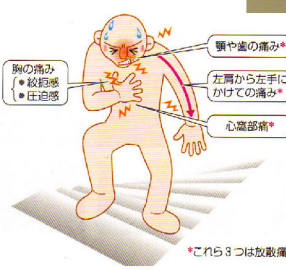
社会医療法人 杏嶺会 理事長
一宮西病院 院長 上林 弘和

ドクター講演記

11月9日 循環器内科部長 大野医師



11月9日に岐阜西ライオンズクラブ、22日に一宮サウスライオンズクラブの『健康を学ぶ例会』にて「胃がんの現状と対策」という演目で、胃がんの正しい知識と最新の治療について啓蒙を行いました。



胸の痛み
• 絞扼感
• 吐逆感
• 嚥や食の痛み
• 左肩から左手にかけての痛み
• 心臓部痛

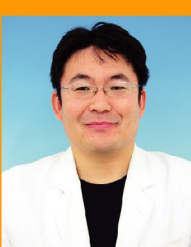
11月9日に大野医師による講演が行われました。今回は大和連区の教養講座に招かれ、「心筋梗塞で死ななために」をお話しました。みなさん、病気予防を心がけましょう。

11月24日 リハビリテーション科 部長 関医師



関医師による「骨そしょう症について」の講演が11月24日、三条連区の教養講座にて行われました。広い部屋に大勢の方が集まって下さいました。優しい語り口が特徴の関医師のお話に皆さん真剣に耳を傾けていました。

新任ドクターのご紹介



心臓血管外科 副部長
星野 竜 (ほしの りょう)

【出身大学】 藤田保健衛生大学
【経歴】 榊原記念病院 心臓血管外科
藤田保健衛生大学 心臓血管外科 講師
【得意分野】 心臓血管外科

患者さんが納得・満足する医療を提供することを心がけます。



救急科 部長
井上 卓也 (いのうえ たくや)

【出身大学】 鹿児島大学
【経歴】 国立水戸病院
大阪府立千里救命救急センター
社会保険中央病院
獨協医科大学越谷病院
名古屋大学医学部附属病院
【得意分野】 救急医一般、多発外傷、熱傷

常に患者さんの立場に立った医療を提供したいと考えています。

11月14日、一宮西病院 移転一周年を記念して、あんず祭を開催いたしました！

この「あんず祭」は、日頃から支えて頂いている地域の皆さんに感謝の気持ちをこめて開いたものです。移転後、一宮西病院内で行う初の大きなイベントでしたが、当日はご家族、お友達同士など地域の様々な方が数多くご来場下さり、大盛況となりました。ご来場下さった皆さま、誠にありがとうございました！

院内探検ツアー



ホスピタルクラウン



バルーンアート



ホスピタルクラウンやバルーンアートショーでは、子どものみならず、大人も思わず大歓声。あんず保育園体操では園児たちが一生懸命踊ってくれました。

ステージイベント



アロマでハンドマッサージコーナー



Dr. 医療講演
大野医師
「心筋梗塞で死ななために」
大久保医師
「乳がん検診のすすめ」



AED実演&講習会
一宮消防署のご協力により当院ライフサポートチームと協同でAED実演&講習会を開くことが出来ました。また外では消防署のご厚意で救急車の展示を行いました。



キッズコーナー
キッズコーナーでは、憧れのナース服に着替えて写真撮影。お絵かきや折り紙も出来ますよ。

模範店



あんず祭では、模範店、健康チェックコーナー、アロマを使ったハンドマッサージ、乳がん自己検診コーナー、糖尿病コーナー、妊婦体験コーナーやキッズ限定☆院内探検ツアー、また内容盛りだくさんのステージイベントでは開催に快くご協力して下さいました一宮消防署とライフサポートチームによるAED講習や、あんず保育園の園児たちによる体操、ホスピタルクラウンショー、バルーンアートショー、ドクターによる医療講演などなど、家族みんなで楽しめる様々なイベントとなりました。



一宮西病院

〒494-0001 愛知県一宮市開明字平1番地
TEL/0586-48-0077(代)

まいにちブログ更新中！

HP検索は 検索



「あんずぶろぐ」こちらのQRコードでご覧頂けます。

福島孝徳医師 医療講演



講演終了後、サイン会場へ向かう際の様子

福島孝徳医師による一宮西病院主催 医療講演「脳を守ろう～21世紀の脳神経外科治療～」は12月4日（土）、一宮市尾西市民会館にて無事開催することが出来ました。脳腫瘍摘出手術の権威でもあり、米国を拠点に世界中で年間600件もの手術をしている福島医師を一目見ようと地元の方も驚くほどの人出が見られました。

講演前に一宮西病院にて手術を行った福島医師。

「すべてを患者さんのために」をモットーとしている福島医師の言葉通りの姿を見ることが出来ました。講演は、自身の経験を交えた日本と外国の医療制度の話や、最新医療についてなど多岐にわたり、話中に度々笑いが会場を包み福島医師のチャームな一面が垣間見える講演となりました。講演終了後は脳神経外科医師を目指す名古屋在住の中学生（浅野くん 15歳）と面談し、激励をおくる場面や、ご来場された方々と時間の許す限り触れ合い言葉をかわしていた姿が印象的でした。手術だけではなく後進の育成にも力を注ぐ福島医師の今後に要注目です！



会館のホール内。開場したばかりですが、すでに満員状態です



講演本番！ユーモア溢れた語り口で会場をわかせ福島医師



当院の宮崎医師による福島医師とのエピソードなど

手術中の様子。福島医師と当院脳神経外科チーム（左）脳神経外科 宮崎医師、（右）福島医師



福島医師に関連する本の販売も行いました。抽選でサイン会参加券が当たるビックなおまけ付き



脳神経外科医師を目指す浅野くんと面会を行う福島医師。この面会は浅野くんが福島医師に「福島先生のように腕の良い脳神経外科医師になりたいので、お話を伺いたい」とメールを送り、その気持ちに感動した福島医師が今回の講演に彼を招待したことから実現しました。

「かかりつけ医」 医院訪問 ～渡辺外科～



院長 渡辺尚医師

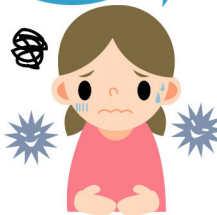
地域連携医療機関として杏嶺会にも馴染みのある一宮市 平和の渡辺外科が平成23年1月5日、リニューアルオープンしました。開業以来40余年、的確な診断と適切な病院への紹介で、地元でも評判の「かかりつけ医」の院長・渡辺尚医師。御歳78歳とは思えない元氣いっぱいの渡辺医師は、「患者さんと楽しく対話しながら診察できる間は、初心を忘れずに続けていきたい」と朗らかな笑顔で語ってくれました。

（医）優心会 渡辺外科

住 所／愛知県一宮市平和3-4-1
T E L／0586-45-3400
最寄駅／JR、名鉄「一宮駅」
診療科／外科、整形外科、内科、小児科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科

*来院前にお問い合わせ下さい。

決して
“のろま”
ではない



●できる限り丁寧な手洗いをしましょう
(特に、食事、トイレ時)

→付着したウイルスをできる限り洗い流すことが重要です。

●感染者の嘔吐、下痢には、むやみに近寄らない(3m以内!)
ようにし、介助者は手袋、マスクをした上で処理しましょう。
ふき取った雑巾等は、なるべく破棄しましょう。

→直接触れなくても、ウイルスは乾燥した粉塵に付着し、空気中に漂っています。

もし感染しても、ウイルスを殺菌するお薬はありません。下痢止めも、ほとんど処方しません。よく患者さんに “下痢をしても、ウイルスを洗い流すつもりで、どんどん水分を取るようにしてください” とお話しますが、脱水を防ぐことが重要です。嘔吐が続く場合は、点滴を行いますので、受診してください。

消化器内科 副部長 大橋憲嗣

ノロウイルス

今の時期、嘔吐、下痢の患者さんがたくさん来院されます。実際、去年よりも多いようです。その原因のひとつ、ノロウイルスは感染性胃腸炎(いわゆる胃腸かぜ)や食中毒を起こすウイルスです。感染すると、下痢、嘔吐、腹痛をおこしますが、ほとんどが数日でなおります。感染力は、きわめて強力で(感染した糞便1g中のウイルスは1～100“億”個ですが、感染に必要な数はわずか10～100個といわれています)、家庭内、学校内の感染拡大は、なかなか防ぎきれないのが実情です。



骨粗しょう症



骨を強く、しなやかにする食べ物って??

骨粗しょう症とは、骨がスカスカになり、骨折をしやすくなってしまう病気のことです。骨折が原因で日常生活に支障をきたし、最悪の場合は寝たきりの生活になってしまいます。特に閉経後の女性、高齢者の方に多くみられます。

この病気の怖いところは、自覚症状がまったくなく検査しなければ骨粗しょう症かどうかわからない点です。そこで大切になるのが予防と改善。まずは普段の食事からちょっとだけ気をつけてみませんか??年齢を重ねても元気に過ごすために、身体の中から健康を守り素敵な生活を送りましょう。

骨にはやっぱりカルシウム！

骨のために、カルシウムを多く含む食品を摂りましょう。またカルシウムの吸収を助けるビタミンDや葉酸、ビタミンB6・12などの存在も忘れてはいけません。

骨が喜ぶ食品たち



でも…何事もほどほどが大切です

逆に摂りすぎに注意したいものもあります。たとえば食品添加物としてリンを多く含むインスタント食品や加工食品などです。またカルシウムは摂りすぎると、体外に排出されてしまうので気をつけましょう。

摂りすぎ注意！



骨を作るお助けマン



生活習慣を改善しよう

骨粗しょう症予防・改善では以下の3点を心がけましょう。

・こまめに動く(8000歩/日)
※8000歩＝90分程度

・偏った食事を摂らない
・日光にあたり
ビタミンDをつくる

※日光浴は夏なら木陰に30分、冬なら手や顔に一時間程度が目安

ワンポイント！
家事も立派な運動です。

例えば…
・掃除機かけ
・洗濯物干し
・食事の買出し
お買いものに行く際、近場であれば車を使わずに、歩いていくのも有効な運動です。意識的に身体を動かせばより一層効果的です！

小児 アトピー性皮膚炎

夏は汗、冬はカサカサに気をつけよう！

世界的に増加しているアトピー性皮膚炎。

今回は、さむ～い冬を乗り切るための対策をアレルギー専門医でもある山田医師に聞いてみました。

いまや国民病といわれるアレルギー疾患。アレルギー症状をお持ちのお子さんも多いですね。特に冬に悪化する方が多いのは、アトピー性皮膚炎です。アトピー性皮膚炎は

・水分を保つ機能の低下
・皮膚のバリア機能の異常



など皮膚の問題とアレルギーを一緒に持っている方が多くいます。

冬は皮膚が乾燥しやすく、かゆみが増すため、かいてしまい湿疹が悪化することがよくあります。入浴して血行を良くし、全身をきれいに洗って清潔に保つのは大切ですが、熱いお湯は痒みを増しますし、強く擦って洗うのは掻くのと同じ刺激になります。良く泡立てて作った石鹸の泡を用い、素手でお肌を軽く揉むように洗うのが良いようです。石鹸成分がお肌に残ると痒くなりますから、良く洗い流して下さい。入浴後は急速に皮膚が乾燥します。お肌が乾ききらないうちに、保湿薬を全身に塗りましょう。はっきりと湿疹があるところは、ステロイド薬などの塗り薬も必要です。医師の指示通りきちんと使いましょう。根気よくスキンケアを続けられれば、湿疹は悪化しにくくなると思います。



アレルギー専門医
山田 伸治 医師

【出身大学】 山口大学
【得意分野】 小児アレルギー
小児科一般

【モットー】
ご家族の皆さまと「共に考える」
小児科医であり続けたいと思います。

小児科外来では、アレルギー専門外来を始めました。

気管支喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギーなど、アレルギー疾患のお子さんたちを診察する専門外来です。1人で複数の症状をお持ちのお子さんが多い上、家庭内のお掃除や日々の食事など、日常生活に直結した問題が症状に関わってきます。生活の場に即してお子さん全体を拝見し、保護者の皆さまとご一緒に対応を考えさせて戴ければ幸いです。(詳しくは小児科外来にお問い合わせください。)

新任ドクターのご紹介



小児科
桜井 のどか(さくらのどか)

【出身大学】 旭川医科大学
【経 歴】 札幌医科大学 小児科
市立釧路総合病院 小児科
斗南病院 小児科
【得意分野】 小児科一般

11月下旬より小児科にて勤務させていただいています。私自身にも娘が一人いますが、子育てを通じてこどもの事を日々新発見しております。こども達の健康と成長をご家族の方々と共に身近で見守っていきたくと考えています。頑張っていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。